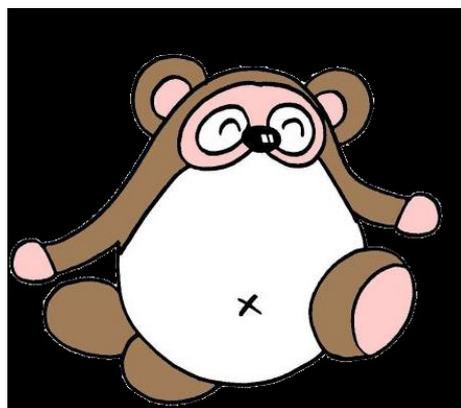


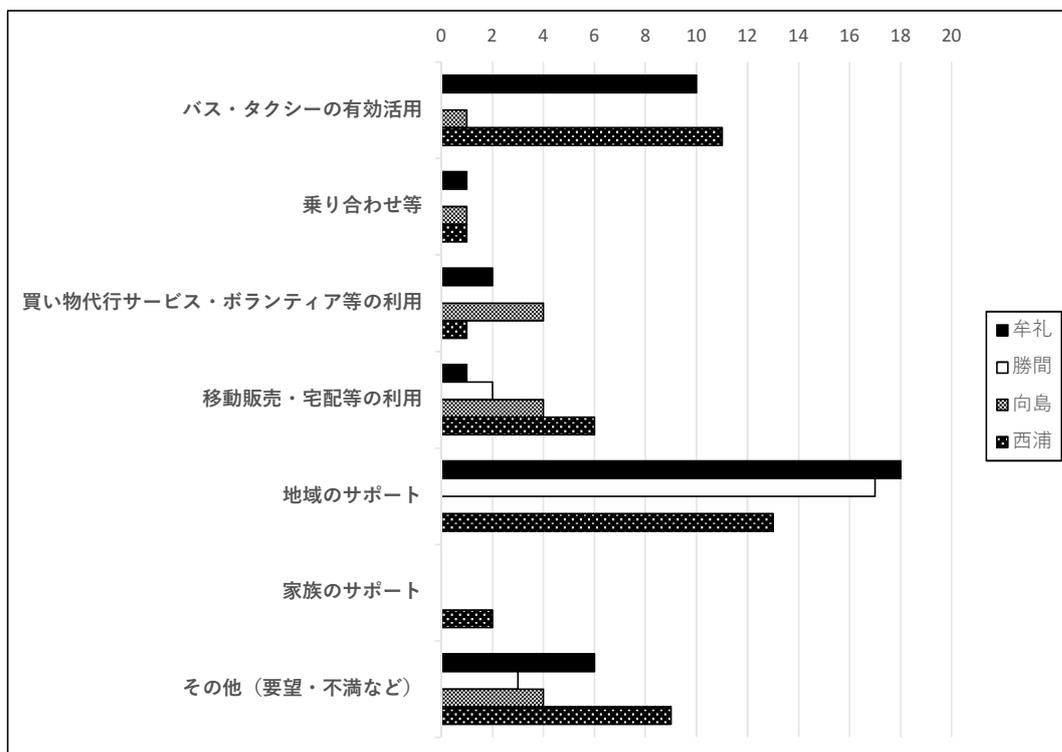
地 区 座 談 会

課題の解決



①買い物に行くことに困っている人

買い物に行くことに困っている人	番号1	解決方法	牟礼	勝間	向島	西浦	全体
	1	バス・タクシーの有効活用	10	0	1	11	22
	2	乗り合わせ等	1	0	1	1	3
	3	買い物代行サービス・ボランティア等の利用	2	0	4	1	7
	4	移動販売・宅配等の利用	1	2	4	6	13
	5	地域のサポート	18	17	0	13	48
	6	家族のサポート	0	0	0	2	2
	7	その他（要望・不満など）	6	3	4	9	22
合計			38	22	14	43	117



【概要】全体で見ると「地域のサポート」についての意見が一番多い。次に、「バス・タクシーの有効活用」が続いている。

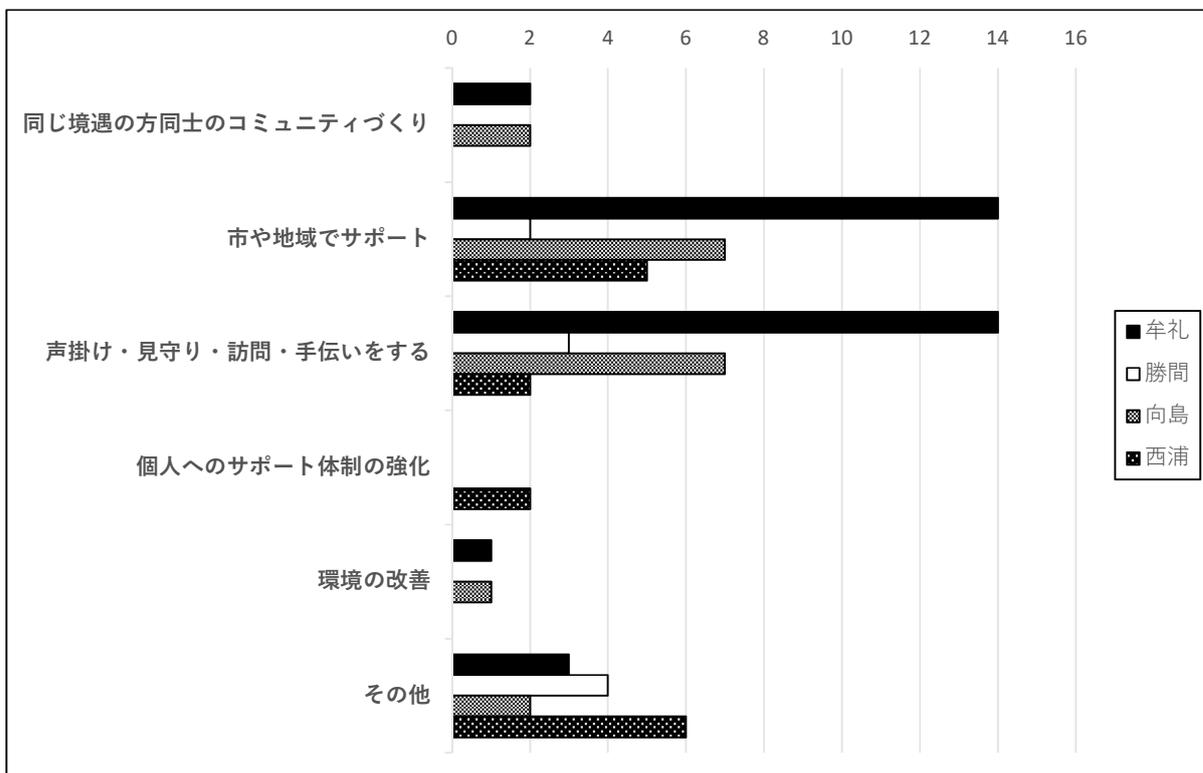
【考察】地域別にみると牟礼・勝間・西浦に関しては「地域のサポート」が一番多いが、向島は、「買い物代行サービス・ボランティア等の利用」や「移動販売・宅配等の利用」についての意見が多い。

（その他）

- ・実際にスーパーで食べたいものを見て、自分で買う。
- ・足腰を鍛える、運動がてらという目的で買い物に行くシステム
- ・買い物のための交通手段を増やすー財政面で自治会だけでやるのは無理があるので援助がほしい
- ・近くに病院もあつたらいいと思う
- ・子どもと同居されている方の利用は可能であるのか等
- ・隣近所との交流がなく誰が住んでいるか分からずどうしていいかわからない
- ・坂や階段の問題
- ・方法はケースバイケース、最善を尽くす
- ・地区に自由に使える畑スペースがあると、食料確保と集まりの場になるのでは？
- ・同行時の転倒等の事故 個人支援→サービス(ガソリン等支給し住民とマッチング)
- ・タクシーを島内でメーターを切ってほしい。
- ・身内を優先し有料サービス提供
- ・地域によってバスやタクシーチケットの必要な枚数が不平等であると感じるため行政で再検討して欲しい
- ・人口的には難しいが西浦に指定病院を作ってもらえれば、、、
- ・農協店舗を再開してほしい
- ・空き家対策
- ・道路の拡大

②日中一人で生活している人

日 中 一 人 で 生 活 し て	番号 1	解決方法	牟礼	勝間	向島	西浦	全体
	1	同じ境遇の方同士のコミュニティづくり	2	0	2	0	4
	2	市や地域でサポート	14	2	7	5	28
	3	声掛け・見守り・訪問・手伝いをする	14	3	7	2	26
	4	個人へのサポート体制の強化	0	0	0	2	2
	5	環境の改善	1	0	1	0	2
	6	その他	3	4	2	6	15
合 計			34	9	19	15	77



【概要】全体で見ると「市や地域でサポート」が一番多く、次に「声掛け・見守り・訪問・手伝いをする」が多い。

(その他)

- ・今後どうなったらよいか「未来」に向けて
- ・住民の多様化
- ・正義の味方がほしい。
- ・マンションには紙を入れる
- ・避難もしやすい高い建物が必要
- ・勝間地区は病院や駅、市役所が近く、買い物も便利であるため以外と住みやすいところである
- ・もっと装置が使いやすなれば、弁償代がなければ、受け入れてくれれば、、、
- ・20人の方が…
- ・100歳人生皆さんが幸せに
- ・全ての人をすくいたい
- ・文句を言う人が多い
- ・みんな幸せに
- ・ビバおせっかい
- ・屋外出することで昼夜逆転を防ぐ
- ・人とかわかりたくない方にどう対応し支援するのか

③引きこもりの子ども（成人、中年）を抱えている高齢者(8050問題)

を引 抱え るも の高 り 者 の 数	番号1	解決方法	牟礼	勝間	全体
	1	情報の把握と訪問（しかしプライバシーの侵害になるのでは）	1	1	2
	2	声掛け・見守り・地域のイベントへの誘い	0	4	4
	3	専門機関に連絡する	0	1	1
	合 計		1	6	7

【概要】意見が出たのは牟礼と勝間のみ。「声掛け・見守り・地域のイベントへの誘い」が一番多い。

（すべての項目の詳細）

- ・引きこもりの子供がいる世帯を把握し、自宅を訪問する。
- ・町内のイベント等にできるだけ参加してもらうよう促す
- ・声かけをしていく
- ・極力声かけをするよう心がける
- ・日頃から関係をつくりさりげなく見守る
- ・専門機関に連絡する
- ・戸別訪問した方がいいと思うがプライバシーの侵害になるのではと思い遠慮している

④徘徊している高齢者、万引きの絶えない認知症高齢者

の者 高絶・徘徊 齢え万回 者な引高 いき齢	番号1	解決方法	勝間
	1	声かけ・見守り・サロンへの誘い	2
	2	家族・包括への連絡	2
	3	その他	2
合 計			6

【概要】意見が出たのは勝間のみ。

「声かけ・見守り・サロンへの誘い」と「家族・包括への連絡」等の意見が出た。

(すべての項目の詳細)

- ・近所に声をかけて見守りをお願いする
- ・サロンの活動を継続する
- ・身内に連絡
- ・ケアマネ(包括)に連絡
- ・ゴミ出しの連絡は継続して地区で活動していく
- ・活動費がもっと必要(例:スポーツ大会で人集めの為の弁当代が欲しい)

【考察】 未来に向けての意見としては、現状通り声掛けや見守り、サロンへの誘いを通して関わっていくことや、家族・専門家(包括)に連絡することなどがあげられた。

⑤早朝、夜間ほっておかれている子ども（子どもの貧困、親の孤立）

勝間

（すべての項目の詳細）

- ・隣近所・班での見守り
- ・あいさつ

【概要】意見が出たのは勝間のみ。

⑥介護が必要でも放置されている高齢者

れで介 ても護 い放 る置必 高 さ要	番号1	解決方法	向島
	1	住民同士のサポート（家事手伝い・買い物援助等）	5
	2	見守り・話し相手	1
	3	有償・無料ボランティアの有効活用	1
	合 計		7

【概要】意見が出たのは向島のみ。「住民同士のサポート」が一番多い。

（すべての項目の詳細）

- ・向島という地域の縁(みんながみんなを知っている)をさらに活かしていく。
- ・お互いにおせっかいをやきあう
- ・買い物の手伝い同行、声掛け
- ・話し相手→誰かが見ている(自然に)
- ・ゴミ出し(生ごみ、プラ)→家の前に出してもらって近所の人に取りに行く
- ・自宅の草取り(例:牟玲のいわばたけお助け隊、あおぞらさん(なんでもやってくれる)、有償ボランティア)
- ・買い物の手伝い(同行)→子どもさん(週1回の支援)

⑨商店、医院の後継者がなく、閉店・医院の閉鎖の増加

西 浦

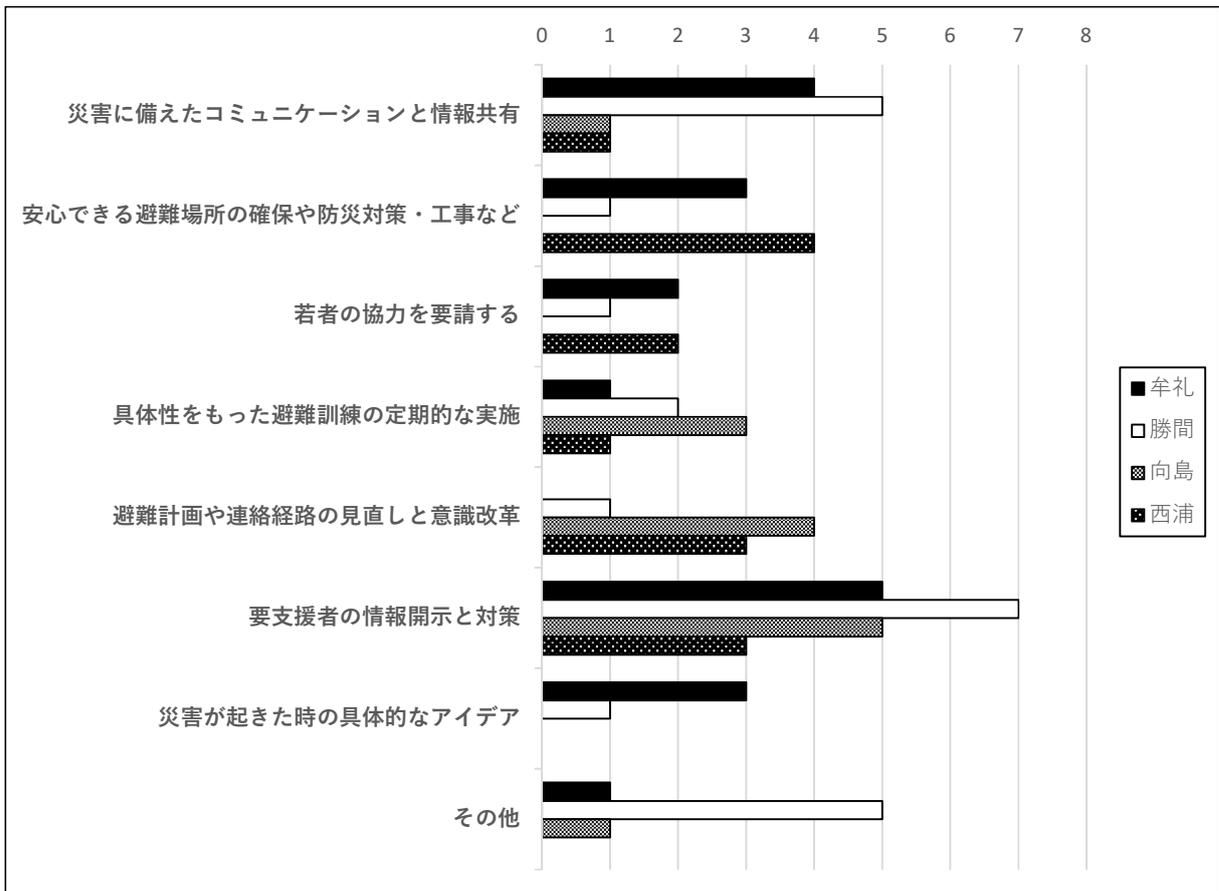
(すべての項目の詳細)

- ・近所とのつながり
- ・電子マネーの基本から教えて欲しい→講習会の開催
- ・郵便局や新聞配達の見守り
- ・南消防署が出来たので少し安心を感じた
- ・もともとないのであきらめている
- ・空き家に犬が住みつくため対策する

【概要】 意見が出たのは西浦のみ。

⑩災害時の避難行動要支援者の避難行動支援についての計画はできたが、実行性に乏しい

て者災 のの害 計避時 画難の 性は行避 にで動難 でき支行 た助動 がに要 、つ支 実い援	番号 1	解決方法	牟礼	勝間	向島	西浦	全体
	1	災害に備えたコミュニケーションと情報共有	4	5	1	1	11
	2	安心できる避難場所の確保や防災対策・工事など	3	1	0	4	8
	3	若者の協力を要請する	2	1	0	2	5
	4	具体性をもった避難訓練の定期的な実施	1	2	3	1	7
	5	避難計画や連絡経路の見直しと意識改革	0	1	4	3	8
	6	要支援者の情報開示と対策	5	7	5	3	20
	7	災害が起きた時の具体的なアイデア	3	1	0	0	4
	8	その他	1	5	1	0	7
合計		19	23	14	14	70	



【概要】全体で見ると「要支援者の情報開示と対策」に関する意見が一番多い。次に多いのは「災害に備えたコミュニケーションと情報共有」である。

(その他)

- ・公的機関で働いた人は地域のことにもっと関心を示してほしい
- ・新しい勝間小学校の備蓄庫あり
- ・信じていく(プライバシーもある)
- ・災害が少ないから想像できない
- ・近くに大きな川があり水害時不安
- ・南海トラフが心配
- ・集まれば食物は確保可(ガス、井戸<発電機>)

⑪その他

そ の 他	番号 1	解決方法	牟礼・向島
	1	地区内でのサロンがなくなり、高齢者が集まる機会が少なくなった	3
	2	資源ゴミの搬入は困難ひとり暮らし・高齢夫婦	3
	3	長期入院・入居所の住居（空き家）の環境問題（植木・猫が住みつく）	1
	4	その他	4
合計			11

【概要】意見が出たのは牟礼と向島のみ。

「地区内でのサロンがなくなり、高齢者が集まる機会が少なくなった」と
「資源ゴミの搬入は困難ひとり暮らし・高齢夫婦」が多い。

（その他） 乗り合いタクシーの要望(退院のため)

来年の総会でもう一度話し合う

ボランティアが欲しい

住民の植木問題は、きちんと手入れを行うように促す。この時に住民の反感を買わないようにさり気なく促す。